

そ だ へ 育 て よ う こ ども は みんな の た かり も の 宝 物

子ども・子育て支援



10年後の 目指す姿

地域の支えで、
子どもを3人育てられる
まちになっています。

- 子育て家庭を地域で支え、安心して子どもを3人育てられるまちとなっています。
- 「子育てをするなら桑名市へ」と言われるまちとなっています。
- 家庭、地域、行政、関係機関が連携して、子育てに取り組むまちとなっています。

施策の現状は？

- 地域子育て支援センターでは、子育て親子の交流、相談、情報提供や子育てサークルなどへの支援をおこなっています。また、公民館などを活用して子育てサロンを開催しています。
- 子どもの笑顔を守り、大人の笑顔も輝くまちづくりを目標に、「子どもを虐待から守る都市宣言」をおこない、関係機関と連携して児童虐待やDVに対する早期対応に努めています。

課題は？

- 子育て世帯が孤立しないように、地域での親子の居場所づくりや施設を利用したくても利用できない方などへの支援が必要です。
- 放課後児童クラブの未設置地区への整備や、小学校など公共施設の活用が求められます。
- 公私立の保育所（園）・幼稚園などの中から、保護者が幅広く選択できる環境づくりを進め、すべての施設に子どもたちの確かな育ちを支える役割が求められます。

目指す姿を実現するために必要なのは？

子育て家庭への支援サービスの充実

- さまざまな保護者のニーズに対応した休日保育、延長保育、一時保育などの保育サービスを充実させ、地域子育て支援センターを中心に子育て家庭の育児の負担軽減や、子育てガイドブック、メールマガジンなどによる情報発信に努めます。

子どもの安全な居場所づくりの推進

- 公民館、公園、保育所（園）などで子育てサロンや、あおぞら出前保育などをおこない、気軽に利用できる地域の居場所の充実に努めます。
- 小学校などの公共施設への放課後児童クラブの設置を推進し、子どもたちが安全に過ごすことができる居場所づくりを進めます。

安心して子どもを産み育てられる環境の整備

- 関係機関との連携を強め、児童虐待などの未然防止や早期対応、ひとり親家庭に対する支援などによる子育て環境の整備に努めます。
- 子育て体験事業などを通して命の大切さを考える機会を提供し、次代の親の育成をおこないます。

地域全体での子育て支援の推進

- 相互援助活動をおこなうファミリーサポートセンター事業、子育て応援ボランティアの養成と活動支援、子育てサークル団体など地域の子育て事業への支援をおこないます。

就学前の教育・保育の充実

- 桑名市就学前教育のキャッチフレーズである「みんながつながり愛、一人ひとりの根っこを育てます」をめざし、保幼小の連携を進めるなど、就学前の教育・保育の充実に向けて取り組みを進めます。



市が取り組みます！

子育て世代のニーズに応じた支援サービスに力を入れ、子育て関係団体などの支援や人材育成に努めます。

子どもたちが安全に過ごすことができる居場所の充実に努めます。

支援を必要とする方に適切な子育てサービスが提供できるよう、関係機関などと連携して子育てしやすい環境づくりに努めます。

市民が行動します！

子育てに理解と関心を持ち、子育て支援や子どもの健全な育成に協力して子どもや子育て家庭を支えましょう。

自治会、民生委員・児童委員、主任児童委員、子育て関係団体は、行政サービスでは行き届かないきめ細やかな活動で子育て家庭を支えましょう。

まちづくりの指標	指標の説明	平成 25 年度現状	方向性
地域子育て支援センター就学前児童年間平均施設利用回数	子育て環境改善のため、就学前の児童および保護者を対象に、地域子育て支援センターの利用を促進します。	5.3 回	↑

がっこうのぼしよ 学校は みんなの未来 伸ばす場所

学校教育

が
がっこうは
みんなの
みらい
の
ぼしよ



10年後の 目指す姿

安心できる環境で、
子どもたちの生きる力が
育っています。

- 生きる力を育み、豊かな未来をひらく子どもが育っています。
- 児童、生徒が、快適で安全・安心な学校生活を送れる学習環境が整っています。
- 学校と家庭、地域が連携した社会のなかで、子どもたちが育っています。

施策の現状は？

- くわなっ子育成方針を柱に「生きる力(の基礎)」を育み、豊かな未来をひらく子どもたちの育成に努めています。
- 学校評議員制度などを活用し、「地域の子は地域で育てる」をキャッチフレーズに地域コミュニティを活用した特色ある学校づくりをおこなっています。

課題は？

- 子どもたちが夢を持ち続け、自立し、さまざまな人とともに生きていこうとする態度を養う教育活動をさらに進める必要があります。
- 基礎的、基本的な知識と技能を活用して問題を解決する能力を育てる教育をさらに進めるため、引き続き教職員研修(教師道場)を充実させることが必要です。
- 子どもたちの学校生活の様子を常に把握し、子どもたち同士のつながりや居場所のある環境を整えて、心身ともに健康な生活を営もうとする態度を育てていくことが必要です。
- 校舎などの耐震補強工事は終了しましたが、非構造部材の耐震化やトイレの改修とあわせて、老朽化対策なども進める必要があります。

※1 地元で生産された産物を、地元で消費することです。

目指す姿を実現するために必要なのは？

確かな学力の定着と向上

- 少人数指導や特別支援教育体制の充実など、9年間を通した途切れのない小中一貫教育を進めるとともに、個に応じた指導、支援体制の実現をめざします。
- 教員の指導力や資質の向上のために指導環境の整備を進めます。

豊かな心の育成

- 道徳教育や体験学習を充実させ、豊かな人間性と社会性の育成に努めます。
- いじめや不登校の解決のための支援体制、学校生活への不安に対する相談体制を充実させます。

健やかな体の育成

- 体力テストの活用や楽しい体づくり運動などを進めて、体力の向上に取り組みます。
- 地産地消^{※1}や食生活の大切さなど学びを通した食の教育、健康教育を進めます。

地域とともにある学校づくり

- 学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりと、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めます。

教育環境の整備

- 快適で安全安心な学校施設の整備を進めつつ、施設、設備の大規模改修や長寿命化の対策を、地域ニーズなどを踏まえて計画的に進め、子どもたちの育ちにとって望ましい環境につなげます。



市が 取り組みます！

- 常に子どもたちの育ちを中心に置いて、それぞれの施策を進めます。
- 学校の状況や施策の課題、成果の情報提供に努め、地域住民とともに活動しながら事業を進めます。
- 家庭や地域と連携して、地域社会全体で子どもを育てる環境の整備に努めます。

市民が 行動します！

- 地域で子どもを見守り、育てましょう。
- 地域全体で、子どもたちの規範意識を醸成しましょう。

まちづくりの指標	指標の説明	平成25年度現状	方向性
学習の定着度	確かな学力の定着と向上を図ります。そのため算数、数学の授業の内容が「よくわかる」「どちらかといえばわかる」と回答した割合を高めていきます。	76.3%	

なくしたい 差別の心 さべつ ところ いま じぶん **今からここから自分から**

人権教育



10年後の
目指す姿

一人ひとりが互いを
認め合い、
行動していきます。

- 子どもたち一人ひとりが自分の大切さやほかの人の大切さを認めることができ、それがさまざまな状況で態度や行動に表れるようになっていきます。

施策の現状は？

- 「人権教育基本方針」をもとにし、次代を担う子どもたちが健やかに育成されるよう、人権感覚あふれる学校づくり、人権尊重の地域づくりを進めています。
- 人権意識は高まりつつありますが、今もなお、子どもたちの生活のなかにある差別やいじめなど、さまざまな人権に関わる問題が発生しています。

課題は？

- 子どもたちが自分の人権を守り、他者の人権を守るために実践行動できる力を育むため、人権学習を人権問題解決のための教育へとつなげていくことが必要です。
- 教職員一人ひとりが人権問題に対する正しい認識を深め、学校全体で組織的、系統的な人権教育を進めることが必要です。
- 校種間（保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校など）や保護者、地域、関係諸機関の間で連携をさらに深め、人権問題解決のための効果的な学習活動などがおこなえるような環境づくりが求められます。

目指す姿を実現するために必要なのは？

人権教育内容の充実

- すべての学校で、子どもたちがお互いを信頼し、受け入れあえる豊かな人間関係をつくります。また、人権尊重の意識と実践力を養う意欲や態度を育むことができるよう、人権教育の内容の向上や指導方法のさらなる充実を図ります。

人権教育推進体制の充実

- 社会全体で子どもたちを育てていくという視点に立ち、学校、校種間および家庭、地域、関係諸機関などとの連携・協働による人権尊重の地域をつかっていくための推進体制や学習活動づくり、指導者の育成などについて取り組みを進めます。



市が 取り組みます！

- 人権感覚あふれる学校づくりを進めます。
- 保護者や地域、関係機関などと連携し、一緒になって人権尊重の地域づくりを進めます。

市民が 行動します！

- 子どもたち一人ひとりが、一人の人間として大切にされているという実感がもてる環境づくりをしましょう。
- 人権問題に関心を持ち、積極的に教育活動や啓発活動などに参加することで、家庭や地域でも人権尊重の意識を広げていきましょう。

まちづくりの指標	指標の説明	平成 25 年度現状	方向性
差別をなくそうとする意識	人権教育の推進を図ります。そのため、「他人事ではなく自分の問題として、差別をなくすように努力する」と回答する児童・生徒の割合を高めていきます。	42.6%	↑